

青森でご活躍されている誘致企業の皆様が実際に触れてみて良かった、楽しかった、今後行ってみたい青森の祭り、温もり、文化・歴史・食をご紹介します。

青森Biz通信

知 っ て く だ さ い ！ 新 ・ 青 森 力 [平成30年1月号]

新規立地も、事業拡大も、全力でサポート！

青森ホタテ

むつ湾で獲れるホタテは、適度な弾力に、やわらかな甘み、とろりとした食感が特徴です。タウリンやミネラル成分など栄養素がたっぷり含まれ、「貝の王様」といわれています。刺し身に天ぷらに、煮物にと何とでもよく合います。

谷地温泉

八甲田の標高800mの高山湿原に囲まれた秘湯。昔からの湯治場で400年以上の歴史を持っています。多くの観光客や温泉ファンが訪れる素朴なたたずまいで、透明な「霊泉の湯」と白濁した「上の湯」の2つの浴室があります。



十和田市現代美術館

官庁街通り全体を美術館に見立て、アートの魅力で街を活性化するため、その中心となるのがこの施設です。十和田市の自然や歴史、風土などに合うよう、世界中のアーティストたちの恒久設置作品38点が展示されています。



青森県の地酒

八甲田や岩木山に積もった雪が溶け出し、川や伏流水となって豊かな農産物を作り出しています。良質な水と米で醸し出される地酒は、やわらかで飲みやすく、喉ごしが軽やかな個性あふれる多種多様な地酒が造られています。



十和田湖

悠久の時を刻んだ神秘の湖である十和田湖は、標高約400mの十和田国立公園にあって、広さでは日本で12位を誇る二重カルデラ湖です。濃い藍色の水をたたえ、四季折々に表情を変えるその姿は、人の心を惹きつけてやまない魅力があります。



八甲田スキー

青森市内やむつ湾を望む田茂岳ロープウェイ山頂を起点に、7kmにも及ぶ長い滑走距離を持つコースが数本あり、初心者から上級者までが楽しめます。特にパウダースノーや樹氷は、近年海外客にも人気となっています。



八戸前沖サバ

三陸沖の約50kmあたりで秋に漁獲されるサバのことです。漁場が低水温のうえに市場も近い八戸港で水揚げされるため、「新鮮で、日本一脂がのったサバ」と高い評価です。大型のものは「銀サバ」と呼ばれ、特においしいです。



八戸えんぶり

八戸地方の春を呼ぶ豊作祈願の行事で、毎年旧暦の小正月にあたる2月に4日間行われます。800年の歴史を持つ伝統行事で、烏帽子を被り、農具「えぶり」を持った数十組の太夫たちが勇壮に舞いながら市内を練り歩きます。（国重要無形文化財指定）



企業立地のご相談・お問合せ

青森県 商工労働部 産業立地推進課

〒030-8570 青森市長島1-1-1
TEL.017-734-9381 FAX.017-734-8109
E-mail:kogyo@pref.aomori.lg.jp

青森県 東京事務所 企業誘致課

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館7階
TEL.03-5212-9113 FAX.03-5212-9114
E-mail:A-TOKYO@pref.aomori.lg.jp

青森県 名古屋産業立地センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル8階
TEL.052-259-7688 FAX.052-259-7805
E-mail:a-nagoya@pref.aomori.lg.jp

青森県 大阪情報センター

〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第1ビル9階
TEL.06-6341-2184 FAX.06-6341-7979
E-mail:a-osaka@pref.aomori.lg.jp

青森県 福岡情報センター

〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-34 住友生命福岡ビル1階みちのく夢プラザ
TEL.092-736-1129 FAX.092-716-2037
E-mail:a-fukuoka@pref.aomori.lg.jp

「青森県産業立地ガイド」ホームページ

青森 産業立地

検索

<http://aomori-ritti-guide.jp>

【Special interview 誘致企業の声】

精度の高い高品質な製品を
製造拠点の青森県から世界へ
株式会社大泉製作所

マルチビッグデータを駆使して
イノベーションを生み出す
ヤフー株式会社 八戸センター

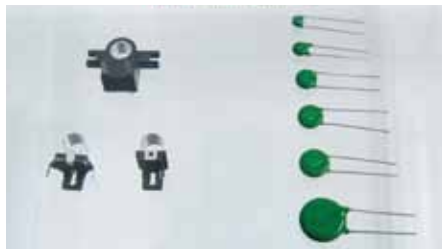


代表取締役社長
後藤 英恒さん

精度の高い高品質な製品を 製造拠点の青森県から世界へ

トップクラスのシェアを誇る 「サーミスタ」

私たちの便利な社会環境は、様々な電子部品によって支えられています。そのひとつに「サーミスタ」があります。聞き慣れない言葉だと思えますが、サーミスタとは温度を知る小さな電子部品のことで、例えば、車のエンジンや家電の室内エアコンの温度コントロールには、この電子部品を利用した温度センサは欠かすことができません。



当社は半導体セラミックのサーミスタ及び、それを使った温度センサを製造販売している会社です。本社は埼玉県にあり、創業は1939年で、航空機の高性能電気接点の製造を目的として設立されました。戦後は電気通産省電気通信研究所よりサーミスタの試作依頼を受け研究開発を始め、1955年より電話交換機用サーミスタの製造を開始しました。以来、60年以上にわたり半導体セラミック及び各種温度センサの開発を進めてきたという経緯があります。

この十和田市に子会社の「十和田電子株式会社」を設立し、サーミスタの製造を開始したのは1967年で、昨年で50周年を迎えました。さらに県内には、温度センサを製造している子会社の工場が五戸町と八戸市にあり、青森県を国内製造部門の拠点とし、一連の工程を一貫して担うことで高い品質レベルを保っています。

なかでも当社グループで半導体セラミックのサーミスタを製造しているのは十和田市にあるこの工場だけで、正確な温度測定と優れた耐久性には高い評価を受けています。それは、長年培ってきた技術が抵抗値のばらつきを抑え、信頼性の高い高品質の製品を生産しているからなのです。

こうしたことから、サーミスタや温度センサの主な販売先は日本国内外の大手自動車部品メーカー、空調メーカー、工作機メーカーで、車載用温度センサではトップクラスのシェアを誇っています。国外では欧米系の自動車部品メーカーを中心に製品が供給され、青森から、それも十和田発のものがグローバルに展開しているのです。

グローバルメーカーとしての 働き甲斐と誇り

当社は「挑戦」を社是に掲げており、これは「持てる技術を進化させ、エコで豊かな社会の創造に『挑戦。し続けます』」ということを謳っています。社風にしても、何事にもチャレンジできる企業風土を育んでいます。これを踏まえて、会社がさらに成長していくために、「変革」をテーマとして今取り組んでいるところです。

世界に目を向けて見ますと、温度センサは省エネや環境への配慮ということからのニーズがあり、新興国における工業製品の増大といったことからますますの需要が見込まれます。特に自動車の場合、「EV（電気自動車）」をキーワードに、世界の自動車部品メーカー各社から高品質の温度センサが求められ、更に需要が伸びています。

現在、子会社を含んだ大泉グループとして約300人の社員が十和田市で働いていますが、当社のモノを作る技術は、多くのメーカーの製品を支えている技術であり、しかもグローバルメーカーであります。これは地元社員の誇りであり、働き甲斐にもなっています。

歴史とこれだけ誇れる実績はあるものの、地元では私どもの会社がどんな仕事をしているのかまだまだ認知されていません。こうしたことから、学校との関係を強めていこうと授業で紹介させていただいたり、学生の会社見学を受け入れているところです。また、県や市の後押しをいただきながら、高校・大学の卒業生の採用に向けて積極的に取り組んでおり、入社後は海外にも支社がありますので、能力に応じて海外で働い

ていただき、人材の交流にも役立ってもらいたいと考えております。

高品質の製品に適した 環境と人材

十和田市で操業して50年ということで、昨年度から表彰されました。操業当時のことを私は分かりませんが、温度や湿度などの環境が高品質な製品を作るのに適していたからではないでしょうか。もうひとつには人材があげられます。

人材を見ますと、当時は人材が確保しやすかったということかと思えます。また、青森県の方は真面目に粘り強く物事に取り組まれる方が多いと感じています。真摯にモノづくりに向かう姿勢は、品質に厳しい大手メーカーにも喜ばれており、それも県民性の良さではないかと思っています。

交通面では東北新幹線開通後、七戸十和田駅から当社まで車で約20分と、取引先のお客様もとても来社しやすくなったようです。お客様と一緒に食事をすることもあります。青森の食べ物は種類も豊富で何を食べても美味しく、特に魚介類が新鮮で喜ばれます。地元でも評判の地酒はもちろん高い評価ですが、一方で地元の人のお酒の強さには、皆さん驚かれています。



株式会社大泉製作所 十和田工場
〒034-0001
青森県十和田市三本木字里ノ沢1番
操業年月 1967年4月
従業員数 106人(2017年4月現在)
事業内容 電子部品製造業
主要製品 自動車やエアコン用のサーミスタ・温度センサー
(温度変化により抵抗値が変化する電子部品)



コーポレートグループカンパニーPD本部
八戸PD室長
真井 修二さん

マルチビッグデータを駆使して イノベーションを生み出す

情報技術で課題を解決 よりよい社会へアップデート

当社は、日本でインターネットが普及し始めた1996年1月、インターネット上の情報検索サービスの提供を日本で行うことを目的に設立されました。そして同年4月1日、日本語によるサービス「Yahoo! JAPAN」をスタートさせています。

近年は、情報技術で人々と社会の課題を解決する「課題解決エンジン」をミッションに掲げ、社会貢献を目指しています。実現したい世界を表す企業ビジョンとして「UPDATE JAPAN」を掲げています。情報技術で人々の生活や社会をよりよくアップデートしたいと考え、そのためのサービスとして“買う”“知る”“楽しむ”など生活のあらゆる場面を想定したコンテンツや、あるいは災害時の復興に関わるコンテンツなど、社会的な課題を解決するためのサービスづくりを行っています。具体的な事業内容として、インターネット上の広告事業、イーコマース事業、会員サービス事業などがあります。

八戸センターは2007年1月に開業し、現在は顧客サポートサービスなどのバックオフィス業務を中心にを行っています。



粘り強く真面目な県民性で 会社や社会から信頼される存在に

八戸を選んだ理由には、東京から新幹線を利用すれば3時間弱で移動できるという立地条件の良さや、大学やIT系の専門学校があり若者の雇用がしやすいこと、それに真面目で定着率が高いという県民性などがありました。当社は情報という膨大なデータを扱うため、セキュリティに対する意識やデータ分析や審査などの業

務に必要な粘り強さが求められますが、真面目で誠実な青森県の県民性は、当社の業務に適しており重要なポイントだったと思います。

現在八戸センターでは、当社における事業のうち、サービスの運用部隊として非常に重要な役割を担っています。従業員の多くが、自分たちが編集・編成したものが「Yahoo! JAPAN」のアプリやトップページに反映されたり、自分たちの分析によって検索の使い勝手が良くなることにやりがいを感じているようです。八戸センターの従業員の頑張りで、今では難易度の高い業務も任せられるようになり、当社における重要な業務を占める割合も少しずつ増えています。



今までこの地域には、当社のようなホワイトカラーの仕事（オフィスで机に向かって行う仕事）が少なかったことから、能力がありながら発揮することなく埋もれていた人材を発掘することができました。女性従業員が多く役職者として活躍している人もおり、八戸センターの発展に影響を与えていると思います。当社では、福利厚生を充実させることで、女性従業員にとっても働きやすい環境づくりに努めています。

利便性に優れた立地環境と 自治体の手厚いサポート

青森県は自然にあふれた県です。食べ物も豊かで、海のものも山のものも楽しむことができます。温泉もいいですね。それに青森県は、新幹線で東京からすぐ、さらには北海道へもつながっています。空港もあり、港もあり、非常に利便性が高いと思います。県内での公共交通機関が十分ではない分、自動車を使うことが多い

ですが、その場合も首都圏のように交通渋滞に悩まされることはありません。通勤にかかる時間やストレスの負荷が少なく、生活しやすさにつながっているように思います。

それでいて、土地、人、産業それぞれに、まだまだ未開拓な分野がありますから、可能性にあふれた県だと感じています。新しいものを受け入れる許容性もあり、どのような産業でも展開しやすい、魅力的な土地ではないでしょうか。

当社が八戸に進出した際は、オフィスの選考から入居、人材採用まで、県や市が事細やかにサポートしてくれました。手厚いフォローのおかげで、無理なく事業規模を拡大することができたように思います。また、地域と共生していくために、地域社会とのパイプ作りや産学官連携の働きかけといったものまで一緒に悩み、解決してくださる担当者がいたことには、本当にありがたいと思っています。



「Yahoo! JAPAN」は日本最大級のマルチビッグデータカンパニーであり、メディア、イーコマース、検索など、一つの企業で多くのサービスを持っていることは世界でもユニークであり、このデータ量は強みでもあります。マルチビッグデータを活用しながら、ユーザーそれぞれに最適化された情報を提供すること、そして信頼してもらえるようなサービスを目指していきたいと思っています。

ヤフー株式会社 八戸センター

開設年月 2007年1月
従業員数 245人(2017年12月現在)
事業内容 サイトの編集・編成、データの評価・分析、広告審査
契約審査、申込み確認等のサポート